



タマリバタケ 提案型協働事業 令和4年度 成果報告書

特定非営利法人neomura × 世田谷区



タマリバタケ 木
 空のつりろ部 本日の作業

① 道路沿いの雑草を抜き、腐葉土と混ぜる。

腐葉土 ① 雑草を枯らした後に、(米ぬか) ② 土壌の酸度を調整する。
 (石灰) ③ 雑草を枯らした後に、(米ぬか) ④ 土壌の酸度を調整する。
 (石灰) ⑤ 雑草を枯らした後に、(米ぬか) ⑥ 土壌の酸度を調整する。
 (石灰) ⑦ 雑草を枯らした後に、(米ぬか) ⑧ 土壌の酸度を調整する。
 (石灰) ⑨ 雑草を枯らした後に、(米ぬか) ⑩ 土壌の酸度を調整する。
 (石灰) ⑪ 雑草を枯らした後に、(米ぬか) ⑫ 土壌の酸度を調整する。
 (石灰) ⑬ 雑草を枯らした後に、(米ぬか) ⑭ 土壌の酸度を調整する。
 (石灰) ⑮ 雑草を枯らした後に、(米ぬか) ⑯ 土壌の酸度を調整する。
 (石灰) ⑰ 雑草を枯らした後に、(米ぬか) ⑱ 土壌の酸度を調整する。
 (石灰) ⑲ 雑草を枯らした後に、(米ぬか) ⑳ 土壌の酸度を調整する。
 (石灰) ㉑ 雑草を枯らした後に、(米ぬか) ㉒ 土壌の酸度を調整する。
 (石灰) ㉓ 雑草を枯らした後に、(米ぬか) ㉔ 土壌の酸度を調整する。
 (石灰) ㉕ 雑草を枯らした後に、(米ぬか) ㉖ 土壌の酸度を調整する。
 (石灰) ㉗ 雑草を枯らした後に、(米ぬか) ㉘ 土壌の酸度を調整する。
 (石灰) ㉙ 雑草を枯らした後に、(米ぬか) ㉚ 土壌の酸度を調整する。
 (石灰) ㉛ 雑草を枯らした後に、(米ぬか) ㉜ 土壌の酸度を調整する。
 (石灰) ㉝ 雑草を枯らした後に、(米ぬか) ㉞ 土壌の酸度を調整する。
 (石灰) ㉟ 雑草を枯らした後に、(米ぬか) ㊱ 土壌の酸度を調整する。
 (石灰) ㊲ 雑草を枯らした後に、(米ぬか) ㊳ 土壌の酸度を調整する。
 (石灰) ㊴ 雑草を枯らした後に、(米ぬか) ㊵ 土壌の酸度を調整する。
 (石灰) ㊶ 雑草を枯らした後に、(米ぬか) ㊷ 土壌の酸度を調整する。
 (石灰) ㊸ 雑草を枯らした後に、(米ぬか) ㊹ 土壌の酸度を調整する。
 (石灰) ㊺ 雑草を枯らした後に、(米ぬか) ㊻ 土壌の酸度を調整する。
 (石灰) ㊼ 雑草を枯らした後に、(米ぬか) ㊽ 土壌の酸度を調整する。
 (石灰) ㊾ 雑草を枯らした後に、(米ぬか) ㊿ 土壌の酸度を調整する。

② レットハウスの屋根に、トビハルササギの卵を保護する。
 (トビハルササギ)

1. 実施状況 2022年10月

日 程	活 動	状 態
10月2日	エントランス計画策定 管理体制ミーティング	自然農の畑の影響か、蝶、蜂(スズメバチ)、テントウムシ、ケムシ(オクラフタトガリコヤガ)、トカゲ、アゲハ蝶など、多様な生物が見受けられた。
8日	藍染のワークショップ	
16日	ごまの収穫	タマリバタケ通信定期発行のための体制をつくった。 読売新聞から取材があり記者さんが現地に來られた。
22日	畑の手入れ	畑の手入れも、沢山の方が当事者として関わっているため、とても豊かに保たれている。
30日	収穫したお米の脱穀	脱穀には沢山の参加者が集まり、調理のイベントの計画をした。







古民家のひみつ 原画展



2022年 11月9日 (水) ~ 23日 (水)
 10:00~18:00
 タタタハウス (タカノ洋品店)
 東京都世田谷区等々力2丁目18
 (東急大井町線尾山台駅より徒歩1分)



タマリバタケ日記 9月号

イラスト「コンポストができたよ！」(あんな+こうき)

<p>4日 ゴヤバジに、オウらなと収穫しました。 香りが高い青い野菜は料理に食べました！ まっぴ</p>	<p>10日 柱となる棒を4本打ちま コンポストコープにいれま 刈った草や根や新たな肥料に 注まれ、夏やまの畑にまきまかせま ほりえ</p>	<p>十三日 旺盛な生長を繰り返すのうらやまを 手動で刈り取り、葉は刻んで汁に 浸した後はすずりたりすずりとエス にはる風にはためきました。ニナ コ</p>	<p>27日 やすさん肝入り手作り田んぼで 多年草を栽培。実地一年目。品種は トマト支柱用の竹竿を再利用しては 土台づくりが難し。秋風にゆされ はさ掛け風景は、奉納感たっぷり ゆきこ</p>
---	--	---	--

1. 実施状況 2022年11月

日 程	活 動	状 態
11月6日	シソの実、落花生、キクイモ、大豆、黒ゴマ等 秋の味覚を収穫	菊芋、落花生、大豆、さつまいも、小豆、オクラ、和綿、ししとう、黒胡麻等、秋の恵みを収穫。紫蘇の実の卵焼き、佃煮等を調理した。
8日	読売新聞に掲載	11月8日発行の読売新聞にタマリバタケが掲載された。
12日	芋の蔦でリースづくり	芋の蔓でリース作りや胡麻を炒る等ゆったりとした時間
20日	バッタを描くワークショップ	秋のバッタをみんなで描くワークショップ等を実施した。 新潟県松代の支所長さんも来場された。
22日	世田谷区役所の方々の視察	世田谷区役所の職員の方々20名超が、タマリバタケを視察。
26日	雨天中止	その後場所を移して意見交換会も。 26日は秋雨前線の影響で雨のため中止。













1. 実施状況 2022年12月

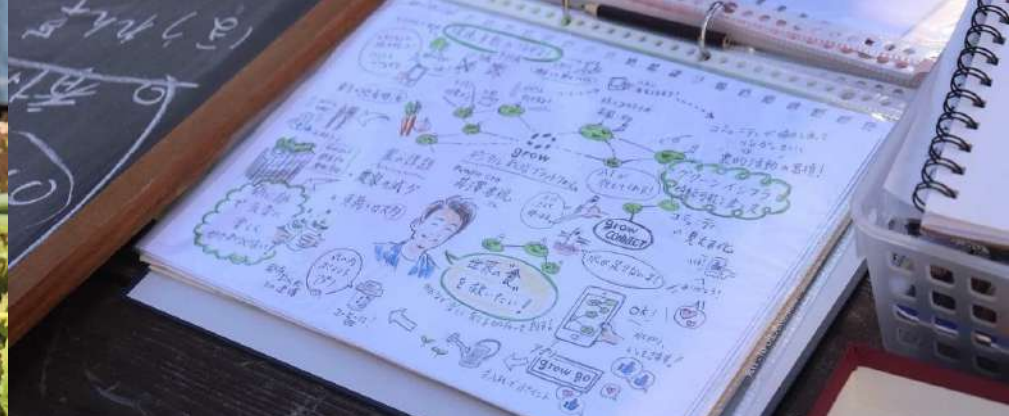
日 程	活 動	状 態
12月4日	松代米試食&大豆の脱穀作業	新潟県松代で取れたお米と、タマリバタケのごま等をあわせて試食会を実施。大豆の脱穀作業も車座になって実施した。
6日	タマリバタケ米試食会	タマリバタケで取れたお米の試食会を実施した。
11日	青空ランチ会～おにぎりWS～	自然療法やオーガニックスキンケア商品などの販売されている二つの月の福永さんによるおにぎりワークショップを開催した。
18日	大根、ネギ収穫	冬野菜の大根やネギを収穫、各自持ち帰って料理して、冬の味覚を楽しんだ。
24日	大豆選別、里芋収穫、 和綿織りワークショップ	4日に脱穀した大豆を今度は傷んでいるものとそうでないものを車座になって選別。他にも里芋の収穫や、和綿の会社を運営されている方による和綿織りのワークショップも実施した。











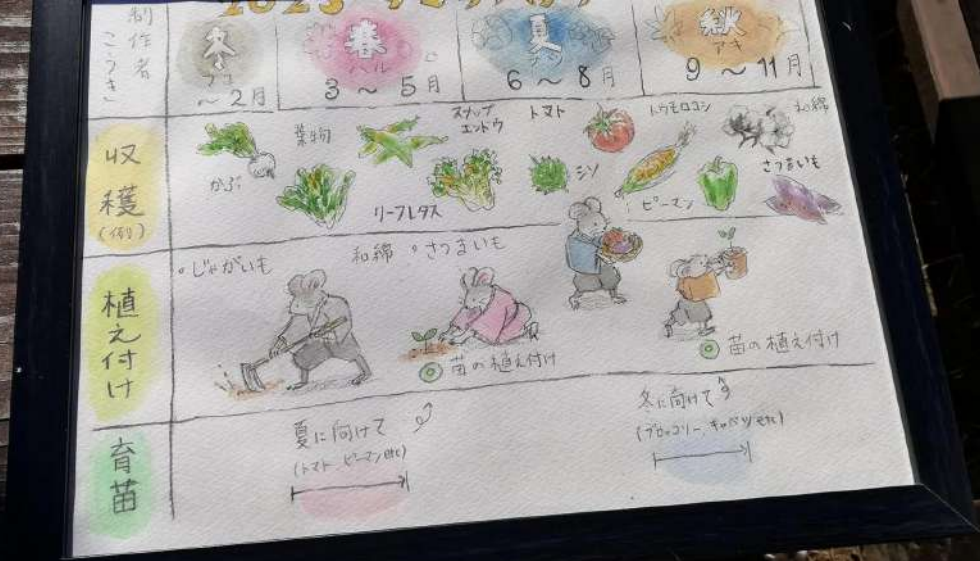


1. 実施状況 2023年1月

日 程	活 動	状 態
1月8日	竹炭で土中環境改善	竹炭でキーホールガーデンまわりの土中環境改善にトライ。
14日	大根や和綿を収穫	大根や和綿を収穫するも、降雨で早々に解散した。
22日	チューリップ球根植え/セニョーラ収穫	茎ブロッコリーの摘芯をしたり、畑の看板用の杭を打ったり、スイセンをエントランスに植えたりした。
25日	運営MTG@ZOOM	運営MTG@ZOOM、課題や今後のやりたいことを話し合い。
28日	イーゼル設置/初参加者同士の交流	協生農法？自然農法？ハタケのコンセプトで議論が白熱した。 新しく来た人がさらに新しく来た人に説明するという良い交流畑を説明するイーゼルの設置やブラックベリーを植栽した。











1. 実施状況 2023年2月

日程	活動	状態
2月5日	小松菜を描くワークショップ	畑で採れた小松菜、一人一枚、葉っぱを選んでそれを描いてもらった。
11日	小松菜、大根の収穫	チラシを見て3名の方が初めて来場。十日町の鬼クルミのむき身の差し入れもいただいた。
17日	コンポスト設置/小カブを描こうワークショップ	念願のコンポストを設置。小カブを描くワークショップも開催した。
19日	運営MTG@ZOOM	日曜夜に10名ほどで運営MTG@ZOOM。課題や今後のやりたいことを話し合った。
25日	Growアプリインストール/エントランス 階段整備	Growアプリで、植えた作物の記録や活動写真のストック、チャット機能を用いた質問や雑談など、アプリ上でもタマリバタケを楽しめるようになった。エントランスに続く階段も整備した。



next time //
2/5 SUN 10~12時
立奏



next time //
2/11 SUN 10~12時
雨水



タマリバタケ
共同栽培アプリ参加ガイド



1. スマートフォンに
「grow go」
アプリをダウンロード

2. ↑のQRコードから
「タマリバタケ」の
フィールド画面へ

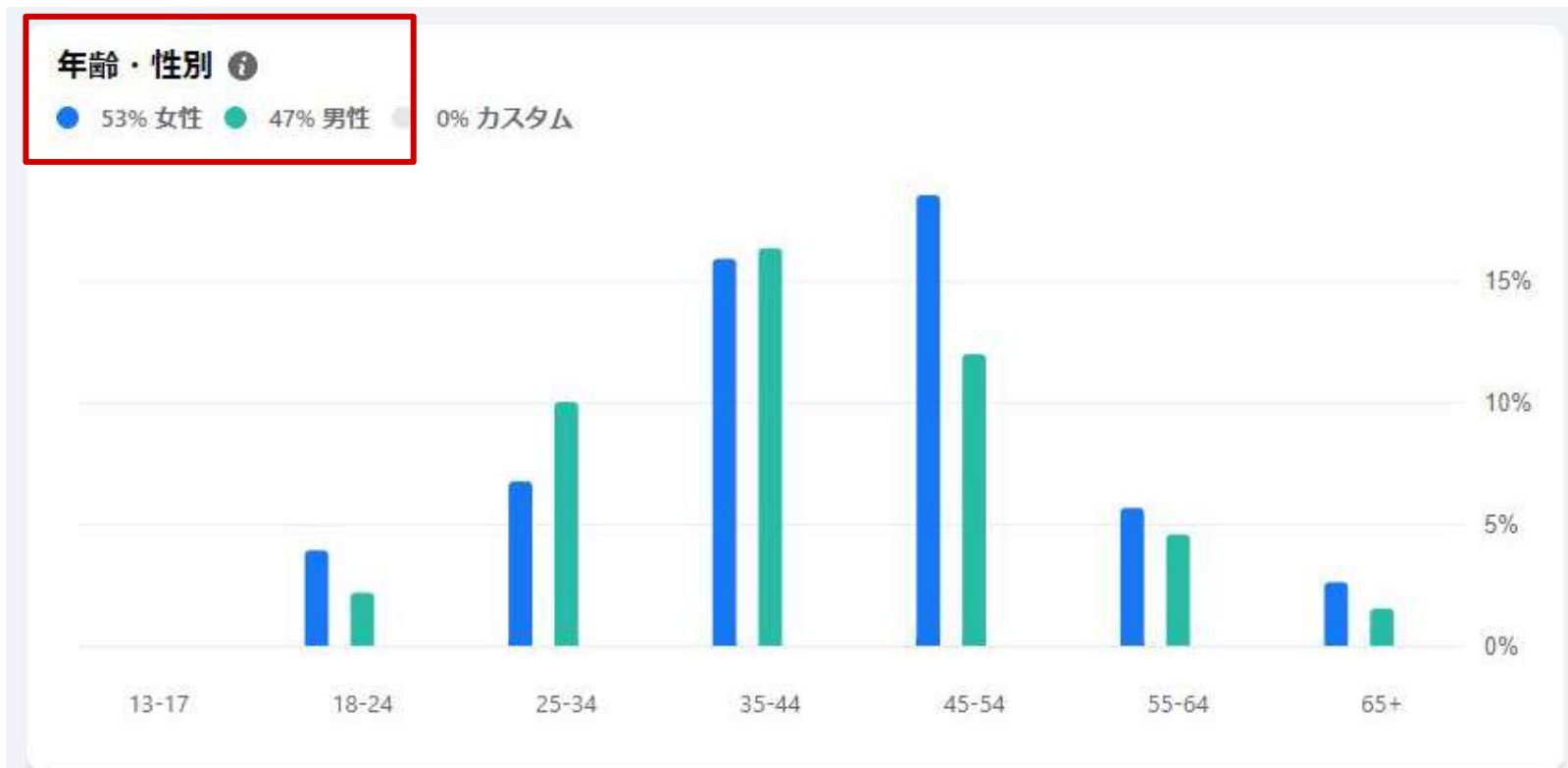
3. ↑の画面で
「共同栽培に参加する」
を選択

4. 「現地観察会参加」



2. コミュニティ状況(オンライン)

Facebookグループ 471名(2022年10月:358名 + 113名)



2. コミュニティ状況(オンライン)

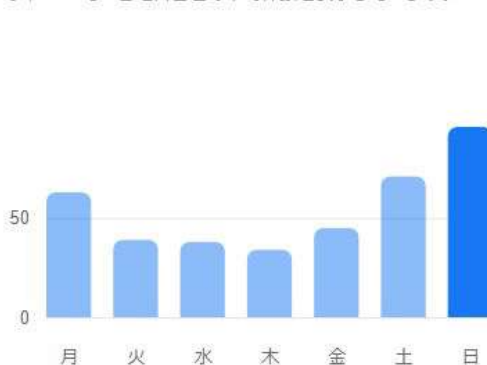
世田谷区からの参加者 214名(2022年10月:162名 +52名)

トップ都市

Tokyo世田谷区	214
Kanagawa横浜市	29
KanagawaKawasaki-shi	16
Tokyo渋谷区	12
TokyoMeguro-ku	10

ピーク日 ⓘ

指定された期間中のメンバーの投稿、コメント、リアクションについて、各曜日ごとの平均件数を表示しています。

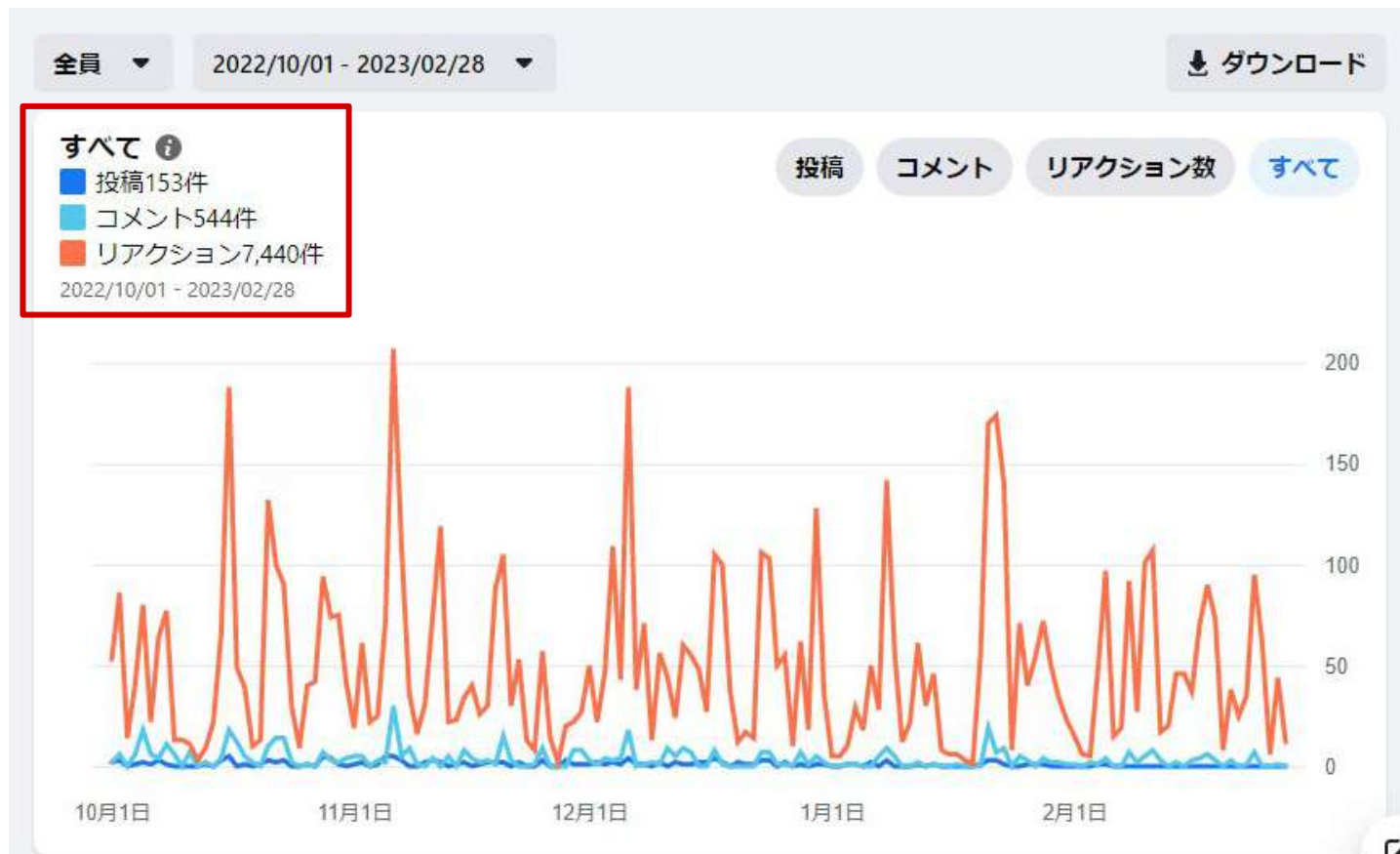


ピーク時間 ⓘ

指定された期間中のメンバーの投稿、コメント、リアクションについて、各時間ごとの平均件数を表示しています。



2. コミュニティ状況(オンライン)



2. コミュニティ状況(オンライン)



タマリバタケで収穫した大豆で 味噌づくりをしよう



タマリバタケで収穫した大豆を、みんなで味噌に仕立てませんか？！
教えてくれるのは、タマリバタケでも馴染みの金野とよ子さん。
この日作った味噌は熟成させて、1年後にお渡しします。

日時：3月11日（土）13:00-15:00頃

場所：neobar（世田谷区用賀4-3-13）

参加費：¥2,000

人数：10名ほど

持ち物：エプロン

●お申込みは、参加ボタンをポチッとお願いします

※お渡しは1年後になります。

お一人につき、700gほどを予定しています。



大豆を茹でるところまで
準備しておきます。
みんなでたのしく
味噌仕込みをしましょう
(とよ子さん)

主催：NPO法人neomura
<https://www.neomura.or.jp>

25日、シロバナタンポポ
に会いにきませんか？



3. 情報発信

掲示板



SNS発信 (WEB・Instagram)



回覧板



タマリバタケ通信



タマリバタケ絵日記〇月号



通信のリニューアル中

3. 情報発信

2023 / 3



タマリバタケOPEN
時間：10:00-12:00

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5 	6	7	8	9	10	11 
12	13	14	15	16	17	18
19 	20	21	22	23	24	25 
26	27	28	29	30	31	

3. 情報発信

タマリバタケ日記 10月号

2才から80代まで幅広く参加中！手ぶらでお気軽にどうぞ！
おしゃべりや野菜を収穫してみませんか？（参加費無料）



20代 男性
今日、おしゃべりや収穫の時間を楽しみました。おしゃべりや収穫の時間を楽しみました。おしゃべりや収穫の時間を楽しみました。

40代 女性
今日、おしゃべりや収穫の時間を楽しみました。おしゃべりや収穫の時間を楽しみました。おしゃべりや収穫の時間を楽しみました。

80代 女性
今日、おしゃべりや収穫の時間を楽しみました。おしゃべりや収穫の時間を楽しみました。おしゃべりや収穫の時間を楽しみました。

タマリバタケ日記 1月号

2才から80代まで幅広く参加中！手ぶらでお気軽にどうぞ！
おしゃべりや野菜を収穫してみませんか？（参加費無料）



22日 冬でも小さな変化が。菜セニエーラの挿心やアイセンなどの種付。息子が描いたその風景が心に染みる。トルカ代 女性

8日 新年初日のタマリバタケは、竹皮を用いた土壌環境改善にチャレンジ。オーホールが土中の微生物たちにとっても心地良いタマリバにならうように！ ゆり 40代 女性

タマリバタケ日記 2月号

2才から80代まで幅広く参加中！手ぶらでお気軽にどうぞ！
おしゃべりや野菜を収穫してみませんか？（参加費無料）



5日 タマリバタケで採れた小松菜の絵を描き、ワノクワもたよみ、種まきも出た。おしゃべりや収穫の時間を楽しみました。おしゃべりや収穫の時間を楽しみました。おしゃべりや収穫の時間を楽しみました。

19日 ジャガイモを植え付け。カヤエンドウが4月頃、収穫できそうです。是非ご参加ください！

17日 スクエアガーデンの様子

3. 情報発信

畑を育むのもよし、みなたぼっこするのもよし、
子どもを遊ばせるのもよし。手ぶらでお気軽にどうぞ！

タマリバタケとは？

タマリバ
(地域交流)



ハタケ
(農体験)

「地域のつながりを育む畑」を目指し、
地域のたまり場+畑 = 「タマリバタケ」
というコミュニティ農園を、

世田谷区との協働事業として2021年秋から始動しました。

活動日・アクセス

●活動日

午前10:00~12:00

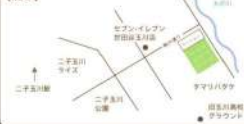
毎週土曜or日曜に活動してます。

※neomuraのホームページが現地表示をご確認ください

●活動場所

世田谷区上野毛3-25先

[MAP]



活動発信



インスタやWEBで、
日々の活動を発信中！



Instagram



neomura

事業者公式
ホームページ



③ これからのタマリバタケ

制作者 工房名	2023 4月 タマリバタケ 3~2月	5月 タマリバタケ 3~5月	6月 タマリバタケ 6~8月	7月 タマリバタケ 6~8月	8月 タマリバタケ 6~8月	9月 タマリバタケ 9~11月	10月 タマリバタケ 9~11月	11月 タマリバタケ 9~11月
収穫 (のり)	かぼ	夏野菜	アスパラ エノケ	トマト	トウモロコシ	かぼ	かぼ	かぼ
植之付け	かぼ	夏野菜	アスパラ エノケ	トマト	トウモロコシ	かぼ	かぼ	かぼ
育苗	かぼ	夏野菜	アスパラ エノケ	トマト	トウモロコシ	かぼ	かぼ	かぼ

② アクセスと活動概要

●活動日

午前10:00~12:00

(毎週土曜or日曜に活動してます)

●活動場所

世田谷区上野毛3-25

※最新の情報はホームページをご覧ください、
お問合せください

タマリバタケ

●活動場所

世田谷区上野毛3-25先

[MAP]



③ お問い合わせ先

メール: tamaribatake@neomura.or.jp (NPO法人neomura)

電話: 03-6432-7148 (世田谷区都市整備政策部 都市計画課)



メール: tamaribatake@neomura.or.jp (NPO法人neomura)

電話: 03-6432-7148 (世田谷区都市整備政策部 都市計画課)

3. 情報発信



4. 協働評価

neomura	<ul style="list-style-type: none">・コロナの状況変化に伴い、参加人数は以前より増えてきている。・参加者の自主的な活動による様々な取組みにより、作物の学びと収穫体験等による農の楽しさを共感したり、コミュニティが育まれる場になってきている。・neomuraの活動を通じた多様な人間関係により、多様な人を集めることができた。(年齢層も子供から高齢の方まで)・コミュニティマネージャーの設置により、比較的スケジュールどおりに進んだ。また、課題であった上野毛地域の方々からの参画が明らかに増えてきており、良い傾向が伺える。・「タマリバ」と「ハタケ」において各ワークショップを開催するなど、農とコミュニティ形成づくりを行った。
担当課	<ul style="list-style-type: none">・地域の更なる参画を増やすため、上野毛3丁目、玉川1・2丁目、瀬田1丁目の各一部を対象にした地域限定のアンケートを実施。(841世帯中、158世帯より回答)回収率約19%、この結果を今後運営に反映していくため、neomuraと情報共有を行い、その対応と調整を行う。・人つなぎによる交流の場の理解は進んでいるところであり、生きがいや健康づくりとしての居場所として定着し始めている。・また、農的体験や収穫体験により、作る・学ぶ・食等への関心は高くなっている。また、少なからずみどりを守ることや環境への意識変化は持ってきていると考えられる。・公共用地の有効活用の観点からも、費用対効果は高いものがあり、他の公有地への展開にかかる検討材料になるものとする。

5. 課題

neomura	<ul style="list-style-type: none">・コミュニティづくりは時間がかかるものであるが、まちに緑と活気をもたらすより大きなイベントの必要性がある。・コミュニティの人つなぎにおいて、SNSで集められない層への手当てが必要である。・近隣住民のさらなる参画が必要である。・農作業以外の「溜まり場」としての要素拡充が必要である。・より多くの人々が「ふらり」と参加できるようなエントランス、看板の設置等が必要となっている。
担当課	<ul style="list-style-type: none">・コミュニティ形成は、多世代がかかわって育むものであるが、そのキーパーソンづくりに時間をかける必要がある。地域に必要なコミュニティマネージャーの存在は大きいですが、一人では難しい。・魅力的な居場所づくりに必要なお祭り(イベント)の継続性が求められる。・SNSで集められない高齢者層等へのアクションは必要である。・農的な活動としての農体験や学びの回数を増やす必要がある。・みんなが来たがる居場所づくりとしての環境整備が必要である。(魅力創出、情報発信など)

6. 対策

neomura	<ul style="list-style-type: none">・コロナの影響はあったが、農作物の収穫実績が増えることで、本事業の趣旨に沿った展開を見込んでおり、地域住民の声を区と共有した取り組みを次年度のコミュニティ形成につなげたい。(小学校や青年の家との連携)・最終的には参加者や地域の方一人ひとりが、自らが農の当事者として、区内の農地またはその他の遊休地や公共地を、農のある場として保全する取り組みが行えるようにしたい。
担当課	<ul style="list-style-type: none">・この実証実験は、農の理解と農に携わりたい人や仲間づくりにより、農地保全への道が開かれるものと考えている。また、地域課題解決に繋がる取り組みとしてのコミュニティづくりは、多様な世代が繋がらないと難しい解となるため、そこをいかに進められるかにかかっている。実現できた際は、区内の農地や農業を守る応援団や理解者を増やし、地域にある農地が保全や利活用されて、地域活性化に繋がっていく取り組みを図りたい。 <p>また、区内にある公有地や民有地(空き地、空き家)の活用による多方面の事業展開を図れるような施策づくりにつなげていきたいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none">・区内には潜在的に多様な方々がいることから、人材発掘に努め、将来に繋がる事業を検討していきたい。

7. 今後の予定

- ・タマリバ、ハタケ、イベント・ワークショップについては、運営上安定的に稼働できているので、継続的に運営予定。
- ・看板の設置やエントランスの改良を通じて、さらなる地域への密着を図る。
- ・今後も定期的なアンケート調査等を行う。
- ・連携団体との情報交換及び連携事項の調整・実施。
社会福祉協議会、高齢福祉課(NPO団体「語らいの家」)、野毛青少年地域交流センター等

8. Appendix (近隣アンケート n=158)

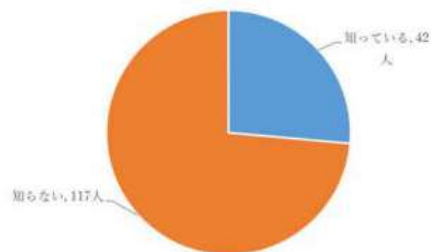
■基本情報



■調査結果

1 本事業のコミュニティ型農園「タマリバタケ」の認知と参加意向など

タマリバタケの認知



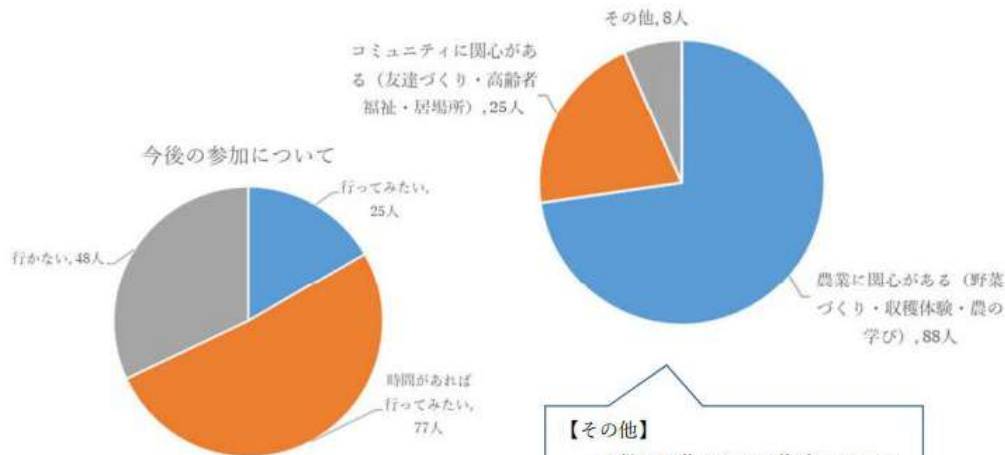
どこで(何で)知ったか



・その他の殆どは通りすがりで知った

8. Appendix (近隣アンケート n=158)

タマリバタケで活動したいこと

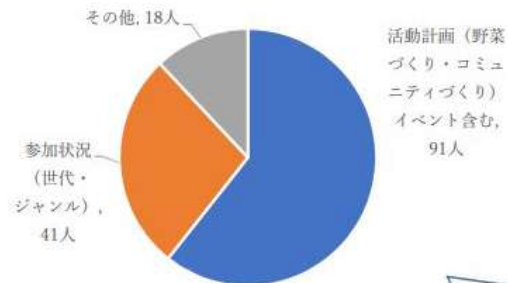


【その他】

- ・子供に野菜づくりを体験させたい
- ・食育
- ・まず会話から
- ・花の苗づくり等
- ・散歩がてら寄ってみたい
- ・のんびりできる空間

2 農業に関する関心や参加の意向等

どんな情報があるとよいか



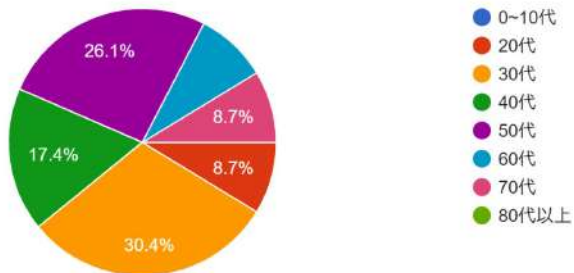
【その他】

- ・野菜の販売はしているのか
- ・利用方法、農作地の空き情報
- ・費用、ペット連れの可否など
- ・途中からでも入れる仕組み
- ・アンケート結果のシェア
- ・野菜だけではなく生花を作りたい
- ・情報以前に存在を周知した方がいい
- ・「音楽」「お酒」「サイクリング」、バーベキュー、地産地消の情報、収穫祭、幼児・児童の活動計画、教養時間、収穫した野菜の料理時間

8. Appendix (メンバーアンケート n=23)

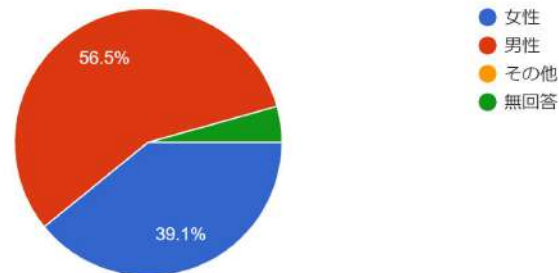
年齢

23件の回答



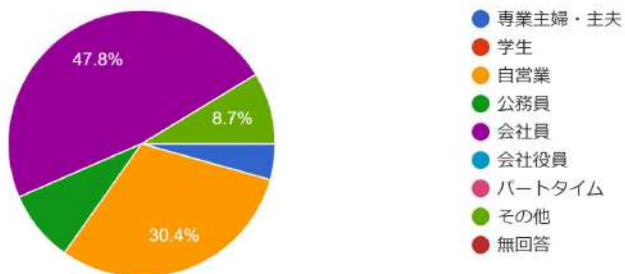
性別

23件の回答



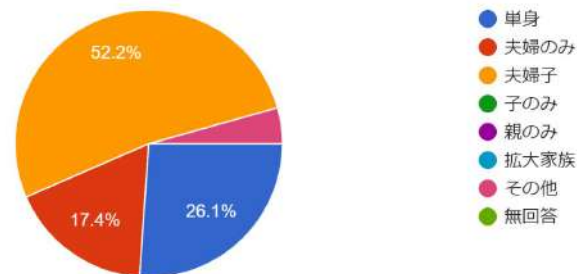
職業

23件の回答



家族構成

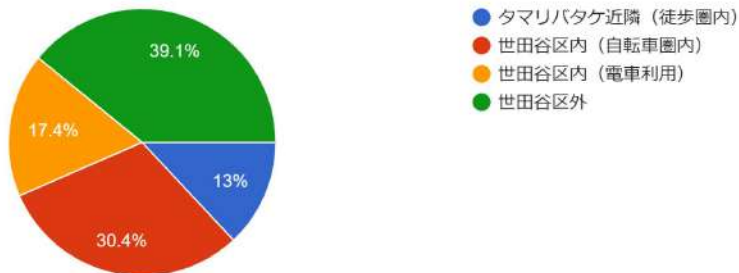
23件の回答



8. Appendix (メンバーアンケート n=23)

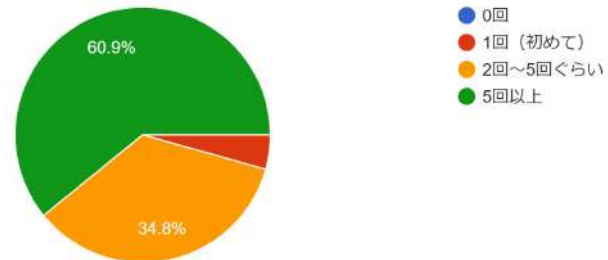
居住エリア

23件の回答



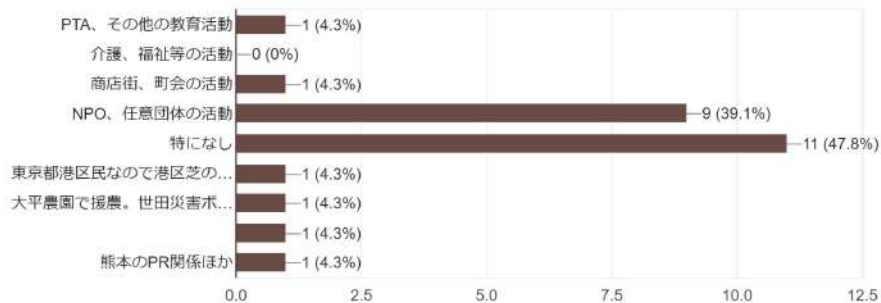
何回ぐらいタマリバタケに参加しましたか？

23件の回答



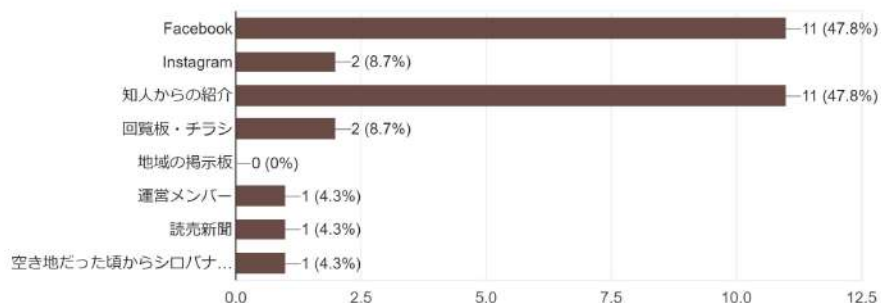
ご自身の地元での活動を教えてください。

23件の回答



どのようにタマリバタケを知りましたか？

23件の回答



8. Appendix (メンバーアンケート n=23)

タマリバタケに参加しようと思った動機は？

シロバナタンポポを守りたかったから。今は皆さんとの交流も協生農法を学んでいます。

コロナ前は時々新潟に農業ボランティアに行っていたが、近くで自由に参加ができること、新潟では指示されていたことをしていたが、ここでは能動的に動ける上、やっていることが興味深いため。

農業が大好き。

楽しそう、自然農法に興味がある、参加者さんたちと会ってみたい

FBを通じて活動を知り興味があったため。

畑のコミュニティに興味があるため

農の重要性・必要性を感じるため、宅地で農という取り組みへの関心、人との繋がり作りのため

楽しそうな場所だと思ったから。都会での農に興味があったから。

農に興味があった。こどもに土を触らせたかった。

土に触れる活動がしたかったから

面白い取組なので

8. Appendix (メンバーアンケート n=23)

タマリバタケに参加しようと思った動機は？

多様な人々が集まるコミュニティに興味をもったこと

都市の暮らしをしている人に、共に農体験をする場を作るということ、協生農法を实践できる場、ということで加わってみました。

実家が用賀。関わってる人がゆるく知ってる方が数人いるのと、子供が農業に触れるいい機会と思い参加。

コミュニティで環境再生型の農業を实践できる場所を探していた

食べられるまちづくり(エディブルシティ)をしたいので

菜園体験が出来るので。

畑で仲間に会えるので、楽しいから

素敵なコミュニティ作りをしたくて

地域に落ち着いたたり、やりたいことができる場所を作ってみたい。

面白いと思ったから。

都市生活者にとって農をもっと身近に、という区の方針と、「つながりを育てる畑」というコンセプトが素晴らしいと思ったから

8. Appendix (メンバーアンケート n=23)

タマリバタケでどんなことをやってみたいですか？

作物の植樹/収穫, ガーデニング(可能な範囲で)

タンポポ観察会

自分でも畑ができるように知識をつけたいし、例えば収穫できたものでマルシェなど地域との輪を広げたい。

皆さんに、旬を知ってもらいたい。

これまで通り、季節行事や染め物、採ってそのまま食事など

農業を通じて地域の皆さんと繋がりたい。

野菜収穫

今のまま、淡々と、各々がやりたいことを実現して行って欲しいです。

種蒔き、育苗、収穫、土壌改善、マルシェ、イベント等

収穫できたものをその場で食べることができたら楽しそう。ハーブティーくらいなら気軽にできるかも。

在来種の植物を育てたい

8. Appendix (メンバーアンケート n=23)

タマリバタケでどんなことをやってみたいですか？

農と交流をつうじたあらたな活動の創出

タマリバタケで収穫できたものなどの簡単加工のワークショップ

農作業

環境や生態系の学びにつながるワークショップ

焚き火

菜園活動と有機素材を使ったワークショップ

畑仕事 情報交換

季節を感じられるイベント

色んなことを話したい！

農をもっと深く知ることができるワークショップを開催したいと思います

8. Appendix (メンバーアンケート n=23)

タマリバタケに何があると、より楽しそうですか？

種苗交換会。タマリバタケだけで農を完結せず、自宅のベランダで何かを育てたり、地方に畑を持ったりというキッカケ作りができるといいと思います。一方で里山には絶滅危惧の植物や花の原種が沢山あるので、これを交換して守る取り組みができるといいなあと思います。あとは、アートとお祭りの要素が加わると、もっと楽しくなりそうですね。

コミュニティ性 (娯楽でも良いけど)

協生農法の学びの会

夏は日陰があまりなさそうなので藤棚。

あまり色々なくても、自然な方が楽しいと思います。

初めての人にも、よりわかりやすく活動が見える工夫(次回の活動予告、看板設置など)

掲示板。他の活動もいろいろあるようだが、オンラインで見て単独参加はハードル高い。紙で貼り出されていればそれをきっかけに主催者や行く予定のある人と会話が生まれて参加につながりそう。

たき火、シンボルツリー、木かげ

8. Appendix (メンバーアンケート n=23)

タマリバタケに何があると、より楽しそうですか？

掲示板・伝言板(毎回来れない人もいる、いろいろ告知したいこともあるから)

より多くの地域の方の参加。なるべくそのままの原っぱ部分

昔駅にあったような連絡掲示板

理由=オンラインのコミュニケーションだけじゃなく、その場に行かないとない楽しみ。

みんなの本棚

焚き火スペース、トイレ、ピザ窯

あまり出来上がった物が無い方がよい。

水道と電気が使用できる設備

ピザ窯

畑の解説

炊事場、調理できる棚(コンロ、水道含む)、バーベキュー設備。

ハーブ栽培

8. Appendix (メンバーアンケート n=23)

タマリバタケの活動で何が印象に残っていますか？

松代など他地域との交流

皆様に助けられながら実施した藍の生葉染めワークショップ、胡麻炒り、シソの実クッキング。人のご縁を見つけられに来た方により、春日部市に協生農法農園を始めることになったり、千葉県成田市の稲の多年草化チャレンジの田に参加するようになったり、新潟県の十日市市に移住される方が出たりとご縁の広がりが出て豊かになっていること。タマリバタケをきっかけに本が出版され作家とコミュニティアーティストが生まれた事。小さくて大変大きなことだと感じます。

色々な世代が関わってる雰囲気

土中環境改善ワークショップ

流しそうめん、胡麻塩おにぎり、パーゴラ建築

畑と雑草の共存と人の集まり

植物に関する情報と仲間との交友

流しそうめん

息子が植物の話に参加されている方と楽しくしていたこと

みんなでブランコづくりしたこと。

8. Appendix (メンバーアンケート n=23)

タマリバタケの活動で何が印象に残っていますか？

共生農法を初めて知りました。

みんなでパーゴラを組み立てたり、土を耕したり、大豆の殻むきをしたこと

サツマイモ収穫

タマリバタケ米の収穫と試食会

まだ参加して2ヶ月程度なのであまりないのですが、ホースシュー畑の糸状菌を見たことと種の撒き方を教えてもらったこと。ふきのとうを取ったこと。

無肥料の野菜の美味しさを知ったこと。テントウムシがきてアブラムシが駆逐されてるのを見たこと。

流しそうめん！

自分で耕して種を植えたこと。

共生農法。美味しい塩で食べたおにぎり。

何もない草原を畑にしていったこと

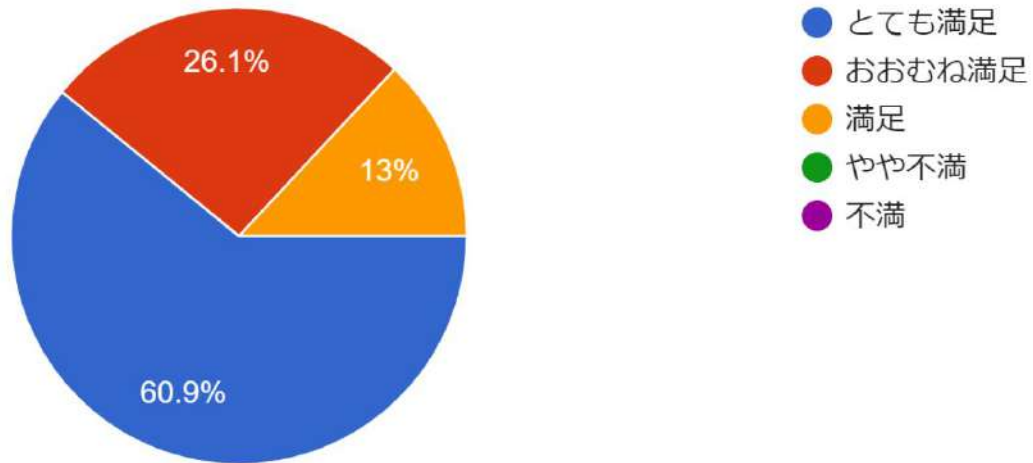
和綿作り、自生しているフキやシロバナタンポポの植生。

協生農法の実践がやはり面白いと思った。

8. Appendix (メンバーアンケート n=23)

タマリバタケにどのくらい満足していますか？

23 件の回答



8. Appendix (メンバーアンケート n=23)

タマリバタケのご感想を自由にお書きください。

緩やかに誘い合う場づくりの実践が期待され、楽しみにしています

色々な方が来たいときに自由な形で参加できる、それを楽しまれていることが何より楽しいです。活動がインターネットを使わない近隣の方に分かりにくい、馴染んでない方が輪に入りにくい、といったことがうまく改善できるといいとおもいます。ここがハブとなって新潟県の松代や埼玉県春日部、千葉県成田などサテライト仲良し農の場、人の交流がはじまっているのは素晴らしいと思います。

まだちらっと参加のみなので、もう少し参加できるように頑張ります！

グリーンインフラ、フードインフラ、居場所、地域交流拠点、学びの場など、コミュニティファームの多面的価値を、全国へと発信する拠点になると思います。区内の農福連携の実践拠点や、農業公園の事例と合わせ、区からの積極的な事例発信に期待しています。自分も、素晴らしい事例として伝えていきたいと思っています。

ありがとうございます！

8. Appendix (メンバーアンケート n=23)

タマリバタケのご感想を自由にお書きください。

開催時間帯を限っているので参加を逃しやすい。見学程度ならよいが、一度参加を逃すと流れに乗り辛い。またワークショップ等のイベントがあると参加しやすい。

長くここでの活動を続けたいです。

面白い人たちが面白いことをやっている、面白い場所だなと思います。今後も続いていけることを祈っています。

世代を問わず、交流できる場が地域にあることは、かけがえのない財産だと思います。用賀に住む、両親にも参加して欲しいです。

面白い取組だけに続けて貰いたいです!

農作物のみでなくここで生きる生物たちが織りなす生態系にも、みんなで大切に育んでいきたい♥

自然に触れられて、楽しく作業をしたり話ししたりで楽しい。ただ、自由と相反するが次回の作業内容やワークショップなどがわかれば早く行った人が準備できると思う。

8. Appendix (メンバーアンケート n=23)

タマリバタケのご感想を自由にお書きください。

今は、まだ、混沌としていますが、それで良いと思っています。〇から始めたのですから。

とても好きな場所です。地元でも作りたい。

農業を通じて地域の皆さんとの接点が拡大すると嬉しいです。

また参加したいです。

企業や団体の意思ではなく、出入り自由という条件で、アイデアやできることを持ち寄って、空間とコミュニティが成熟していく様が、とても魅力的だと感じます。

こんな楽しい場があって、とっても嬉しいです。これからの発展も楽しみです。

素敵な場を提供してくれてありがとうございます！

ゆるく参加できるところが魅力、年齢を聞かれると辛く感じる、老若男女問わず集まって手を動かしながらおしゃべりするのが楽しい、街なかで土に触れる機会の場づくりはストレス社会の人を救うと思う



neomura

